

## ・演習・実習担当指導員等の選定要領

本要領は、登録養成課程の円滑な実施を図り、一定の演習及び実習水準の確保を図るため、演習を教授する者及び実習を行う指導員等の選定要領を示すものであり、基準省令で定める要件を満たした者を確保するとともに、登録養成課程を実施する体制を構築する上での参考としてください。

### 1. 演習と実習を担当する指導員等の要件

(1) 演習・実習を担当する指導員等となることができる者は、「標準カリキュラム」の演習、実習科目に定める目的、内容、目標等を達成するために、専門的知識を有する者で、基準省令で定める次のいずれか一つに該当し、中小企業診断士を養成する能力があると認められる者とする。

(ア) 経営コンサルタントを主たる事業として5年以上営む中小企業診断士（従業員として経営コンサルタントに従事する期間が5年以上の中小企業診断士を含む。）で、中小企業経営において専門的な知識を有する者

(イ) 中小企業診断士以外の者で、中小企業の経営についての専門的な知識もしくは中小企業に関する学識経験を有する者で、中小企業の経営方法又は技術に関する研修に係る演習又は実習の教授又は指導経験を有する者

(2) (1)の指導員等を補佐する者を置くことができる。その場合は、次の各項目のいずれか一つに該当し、中小企業診断士を養成するにあたり、演習・実習指導の補佐する能力があると認められる者とする。

(ア) 中小企業診断士として2年以上の登録している者

(イ) 中小企業診断士以外の者で、中小企業の経営についての専門的な知識もしくは中小企業に関する学識経験を有する者

### 2. 指導員等の選定手続き

新規に指導員等を選定する場合は、「履歴書」、「業務実績書」及び「指導又は教授実績書」をもって、登録養成機関の代表者が選定する。

なお、既に、機構において中小企業診断士養成課程インストラクター養成研修を受講した講師については、「指導又は教授実績書」の提出は不要とする。

### 3. 受講生に対する「企業診断実習」のアンケート調査の実施

実習毎に、受講生に対する「企業診断実習」のアンケート調査（「アンケート調査表」別添）を実施し、その調査結果に基づき、実習内容、実習指導員の指導内容等を精査し、受講生の修得水準の審査、指導員の見直し及び実習の質の向上に資するものとする。

実習期間平成 18 年 月 日～月 日

提出期限 月 日(全員提出)

企業診断実習アンケート調査表

班	No	氏名	
実習指導員名		担当 (担当作業)	班長・副班長・班員 ( )

該当する番号に 印をつけてください

1. 実習期間について( 適当 短すぎる 長すぎる )  
のご回答 適当と思われる期間  日間 (その理由 )
2. 実習内容について( 適当 不適當 )  
のご回答 (その理由 )
3. 当企業診断実習の役立度について( 役立った 役立たない )  
のご回答 (その理由 )
4. 実習指導員について

(1) 指導員の方向性と受講生の方向性ギャップはなかったですか？(班とパート)		
なかった・あまりなかった	多少あり	非常にあり 指導員が一方的等

(その理由) ↓

(2) 指導が適切だったと思いますか？

<視点> ・受講生の主体性の重視 ・質問に対する適切な指導 ・指導に対する熱意  
・得意分野に偏った指導 ・論理的思考に立った指導(思いつきでない)等

非常によい	ややよい	普通	やや悪い	非常に悪い
-------	------	----	------	-------

(その理由) ↓

(3) 貴殿と指導員のコミュニケーションはどうでしたか？

非常によい	ややよい	普通	やや悪い	非常に悪い
-------	------	----	------	-------

(その理由) ↓

受講生の自己評価(実習による行動成果・工夫した点、反省点)